

# 令和 5 年度 学校評価シート

学校名： 紀央館高等学校

校長名： 西垣内 郁久

## 目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

輝かしい伝統を引き継ぎ、新たな歴史を創造するため、生徒・教職員・家庭・地域との連携を大切に、特色ある教育の提供に努める。基礎・基本を身につけ、自身と誇りを持って社会に飛躍し、人々に信頼され地域貢献できる人間を育成する。自ら目標をたて、希望を持って楽しく学び続ける(希望)。平凡なことをおろそかにせず、基礎・基本をしっかり身につける(徹底)。自己の価値に気づき、人々の価値を尊重し、人々に愛され信頼され、尊敬される人間性を磨き続ける(価値)。

## 学校評価の公表方法

きのくにコミュニティスクール（学校運営協議会）や各種委員会などの協議内容を確認・整理し、ホームページなどで広く公表する。教育活動をマンスリータイムズや、季刊の新成会だよりなどで記事として掲載する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

## 自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（3月14日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	基礎学力向上と、自ら設定した目標にむけ主体的・協働的に学ぶ姿勢を育てる特色ある教育を展開する。		日々の授業の充実と ICT 機器を有効活用した授業展開の工夫	生徒個々の成績推移と生徒による授業評価	A	生徒の授業に対する評価はすべての学年において高かった。	ICT 機器の有効活用をさらに促進し、個別最適な学習と協働的な学習を実践し、継続して生徒が主体的・協働的に学ぶ姿勢の育成に努める。
			基礎・基本的な知識・技能の着実な定着と成績不振者への対応	成績不振者数の推移と欠席・欠課時数	B	欠席・欠課時数が多い生徒の割合はあまり減少していない。	
			より高い目標の設定と実現への支援	進路希望状況と結果の把握・検証	C	進学希望の生徒は増加しているが、高い目標の到達には至っていない。	
2	地域に開かれた学校づくりを行うとともに、地域に愛され地域に貢献できる人材を育成する。		CLT(地域研修期間)の充実	生徒による CLT のレポート・発表内容	A	調査だけでなく体験する内容のもの等、多様性がみられた。	学校運営協議会の提言と協力のもと、継続的な取組を行う。引き続き地元企業との連携を密にし、地域を支える人材の育成に貢献する。
			地域住民や団体との協働活動の推進	活動の充実と新たな活動への取組状況	A	積極的な情報発信により、学校への理解がより深まった。	
			地元企業との協力と就職斡旋	地元企業への就職希望者数及び就職率	A	地元企業を中心に県内企業への就職者の割合が多い。	
3	自他の命と権利を尊重し、多様性を認め合う社会の形成者としての資質を育成する。		個人面談・保護者面談の実施 生徒個々の状況を適切に把握	キャリアパスポート・つなぎ愛シートの作成	A	生徒個々の状況を把握し、個に応じた対応を継続的に行った。	各分掌と年次との連携をはかり、生徒の知識と経験を深め、より高い意識を醸成することができる実践的な取組を計画・立案し実施していく。
			平和・人権講演会の計画・実施および防災教育の計画・実施	講演会・避難訓練実施後の生徒の感想文など	A	防災教育では地域の協力を得て体験的な新たな取組を行った。	
			現職教育の実施と必要十分なケース会議の開催	生活アンケート・保健室使用状況等の検証	B	担任と各部署との連携により支援体制を確立し実施した。	
4	働き方改革を推進し、教員の資質・能力向上を支援するため組織的に学校運営を充実させる。		教員個々の能力を高めるため目標に沿った研修の計画実施	校内外での研修内容・成果の検証と参加状況	A	経験年数に応じた研修に積極的に参加し、校内で共有した。	ICT 機器の有効活用をさらに進め、資料や情報の共有をはかることで業務の効率化を行う。勤務時間を意識した働き方改革を推進し、職員の心身の健康増進に努める。
			研究授業や公開授業などの実施と協議	公開授業や研究授業の実施数と前年比	B	他校種の教員に授業を公開し、授業の改善に努めた。	
			校務分掌および各種委員会の見直しと組織改編、ICT の活用	組織効率化の進捗度 教員のアンケート調査	B	ICT 機器の活用による資料や情報の共有はさらに進んだ。	

## 学校関係者評価（2月16日実施）

- ・学校として、保護者評価の「生徒は明るく生き生きとした学校生活を送っているか。」で肯定的な意見が多いのが一番重要だと思う。保護者にとって、生徒が安心、安全な環境で楽しく学校生活を送ることが一番の評価ポイントだと思われる。
- ・教員評価に関する回答「身だしなみ指導や規律遵守について、全教職員の共通理解と協力体制ができていくか。」について、全員の生徒と良い関係性を築くのは難しく、集団の中で全員が満足することが難しいなか、肯定的な意見の割合が54.8%もあるのは相当に高いと評価できる。
- ・学校の活性化に向けて色んな取組をされており、特色ある学校づくりに向けて、日々指導にあたっている。そのことがCLTの充実にも繋がって行くのでは。
- ・地域へのアピールを積極的に行っており、生徒のやる気向上にもつながると思われる。
- ・紀央館高校への進学希望者多い。一人一人の良さを活かしていただいている。課題のある生徒にも熱心に対応し手厚く指導している。生徒数も減ってくる中、特色ある教育を進めてほしい。
- ・授業見学、紀央祭の見学、とても印象に残っている。校庭、校舎もきれい。生徒は授業に前向きに取り組んでいる。先生方の苦勞、苦心に敬意を示したい。
- ・学校評価については、今後も同じ内容で続けて実施してほしい。長期的に見ていくと色々な変化や問題点に気づく。経年変化を見てほしい。
- ・特殊詐欺、お金、人間関係等について、社会に出るにあたっての教育をお願いしたい。
- ・新聞などに載っている生徒の活躍している姿を見るのは嬉しい。今後も積極的な外部への情報発信を行ってほしい。